

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	3970101634
法人名	社団法人 高知市労働事業協会
事業所名	グループホーム やさしい里
訪問調査日	平成21年3月5日
評価確定日	平成21年5月11日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

**○項目番号について**

外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**

[取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3970101634		
法人名	社団法人 高知市労働事業協会		
事業所名	グループホーム やさしい里		
所在地 (電話番号)	高知市朝倉己771-1 (電話)088-843-1303		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年3月5日	評価確定日	平成21年5月11日

## 【情報提供票より】(21年 2月 14日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成 16 年 8 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤 11(内兼務2)人 非常勤 2人 常勤換算5.3人	

## (2)建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	32,000 円	その他の経費(月額)	17,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		

## (4)利用者の概要(3月 5日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	2 名	要介護2	1 名
要介護3	7 名	要介護4	2 名
要介護5	6 名	要支援2	0 名
年齢	平均 87.2 歳	最低 75 歳	最高 95 歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	いずみの病院 高知脳神経外科病院 宮上内科 木村病院 ごとう歯科
---------	----------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

モダンな木造の建物は家庭的な雰囲気があり、施設内の掃除も行き届いている。隣接のデイサービスセンターから届く食事も旬の物を美味しく料理され、同センターにある温泉風呂で利用者はゆっくり楽しんで入浴している。利用者の尊厳を第一と考え、いきいきと生活できる環境作りや、仲良く暮らせるように様々な行事を行ない、施設長を中心に全職員が真摯に取り組んでいる。公園のお花見や、近くの広場で鯉のぼりを見たり、種崎の渡し船に乗ったりして、昔の一番輝いていた頃に浸れる環境作りにも力をいれている。地域との交流も密で、年末のイルミネーション、5月の鯉のぼり、夏のよさこい踊りなど、地域の皆さんにも喜んでもらっている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の改善課題については、出来ることから改善し、サービスの質の向上に取り組んでいるが、今後、運営推進会議を活かした取り組みや、家族等の意見、要望の把握、地域ぐるみの災害対策について、引き続き改善に向けた取り組みを期待したい。
①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、施設長、管理者、計画作成担当者が話し合って評価シートを作成し、職員に意見を求めている。今後とも、課題等の話し合いの段階から全職員で取り組むことを期待したい。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議の内容は、事業所からの活動報告や提案事項が中心で参加メンバーからの意見は少ない。外部評価・自己評価の内容を報告するとともに、課題改善に向け、参加メンバーからは提案や意見を出してもらうなど、双方向的な会議になることを期待したい。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族に家族会の組織づくりを働きかけ、家族同士が話し合える場を設け、家族や利用者の希望や意向をより一層把握する環境づくりを期待したい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会の組織はないが、地域の一齐清掃、不燃物収集に職員が参加している。また、地域の小学生の施設見学の受け入れや、運動会の応援に出かけたり、地域住民の踊りの慰問や地域の「敬老のつどい」に参加するなど、楽しい時間を過ごしている。今後は地域住民参加の避難訓練を実施するなど、更に地域と連携していくことを期待したい。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 「利用者の尊厳を基本に、地域社会の一員として生活を行なう」との地域密着型の理念が作られている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 毎朝、理念の唱和や確認を行なっている。施設内に運営の基本方針、理念を掲げ一目で解かるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 身体拘束は行わず、また、言葉かけに留意するなど、一人ひとりのペースに合わせて利用者中心のサービスを実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 町内会は組織化されていないが、利用者やホームが地域の一員として交流に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 年3回の地域清掃活動、月1回の不燃物収集に職員が参加。地区の運動会のカンパや夏祭りの手伝いなど積極的に参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 施設長、管理者、計画作成担当者が話し合っって評価シートを作成し、職員に意見を求めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 外部評価を受け、施設長、管理者、計画作成担当者が話し合い、改善計画を立て、全員で取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	自己評価にあたっては、一連の過程を職員全員で取り組むことで、職員の意識あわせ、ケアの振り返りや見直し等が可能になるため、今後とも、課題等の話し合いの段階から全職員で取り組むことを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。  事業所からの活動行事報告はあるが、参加メンバーからの意見は少ない。  <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。  外部評価の報告はしているが、課題改善に向けての話し合いは行なわれていない。	○	運営推進会議では、参加メンバーから質問・意見・要望を受けるなど、双方向的な会議になることが望まれる。また、自己評価の結果や外部評価の課題の改善についても、会議の場で話し合い、検討されることが望まれる。
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  市の介護保険課や西部地区高齢者支援センターに事業所の実情等を伝え、指導を受けたり相談したり、連携と交流を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。  家族の来訪時に利用者の近況報告を行い、家族の状況も聞いている。  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。  ホーム便り「やさしい里」を年4回発行している。毎月の請求書送付時に、職員が利用者の近況を一筆書き同封している。  <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。  すぐに電話で連絡している。  <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。  家族の来訪時に領収書を渡し確認のサインをもらっているが定期的ではない。家族には定期的に報告しサインをもらうことが望まれる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。  今まで苦情は出ていない。「ご意見箱」の設置や、家族からの相談はその都度対応している。	○	家族に家族会の組織づくりを働きかけ、家族同士が話し合える場を設け、家族や利用者の希望や意向を把握する環境づくりを期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。  本年度は2名の退職者があったが、継続的に支える体制ができており、利用者には不安は見られなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。  10日間位の引き継ぎ期間を取っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。  内部研修を計画的に実施し、外部研修にも参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。  2ヶ月に1回職員会で報告している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。  全国組織に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。  西部地区のグループホーム連絡会が発足し、管理者が参加し、交流を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>自宅や入院時は病院に出向き、本人、家族と面会している。利用者の同意のうえ入所を決定している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>本人、家族が見学している。2～3日体験入所された方もいる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>理事長、施設長、管理者の複数で面接をしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>利用者が一番輝いていた頃の情報を基に、生活歴を把握し共通の話題から信頼関係を見つけている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>利用者と職員が共に生活をしていく中、日常の会話等から本人の思いを汲み取り、信頼関係を築いている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>日々のかかわりの中で、利用者の言動から心の状況を読み取るように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族からの聞き取りや、地域住民からの情報も収集している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。  本人、家族の意向を聞き介護計画を作成している。  <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。  モニタリングは2カ月に1回行ない、計画に反映させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。  短期3カ月、長期6カ月の見直しをしている。  <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。  状況の変化があれば、すぐに見直している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。  協力医の往診が週2回あり、全員が医療処置を受けながら生活が継続できている。看護師も配置されている。  <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。  協力医療機関やかかりつけ医への送迎は全て事業所に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。  本人、家族の意向に沿っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。  通院の送迎は事業所が対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。  看護師の管理のもと、業務日誌や個人別のサービス提供の記録に記入し、共有している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>重度化・終末期ケア対応指針を作成し家族に説明しているが、医師を交えての話し合いはこれからである。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>施設として対応できる体制にあり、全家族に説明し同意書も頂いている。</p>	○	<p>重度化・終末期の対応については、指針に沿って家族に説明されているが、本人や家族が安心して相談できるよう、医師も交えた話し合いの場を設けることを期待したい。</p>
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。</p> <p>時間を見計らって居室のトイレに誘導し、さりげなくフォローをしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>プライバシーの保護について職員に徹底している。退職後の守秘義務についても採用時に徹底して説明している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>職員採用時に説明し、内部研修会でもテーマとして取り上げて取り組んでいる。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。</p> <p>利用者の希望に沿って、家庭菜園に行ったり、買物に出かけたりしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。</p> <p>利用者の意向やペースを第一に、ゆったりした時間の流れの中で、思い思いの過ごし方を支援している。</p>		



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。  事業所の基本方針で隣接のデイサービスセンターで調理している。土、日は事業所で作っており、日曜の朝はパン食である。重度化に伴い配食・配膳・下膳の手伝いは難しい状況である。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。  職員も一緒に同じものを食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。  利用者の希望に沿って入浴している。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。  小さな浴槽での入浴は怖がって拒否される利用者が多く、隣接のデイサービスの広い温泉風呂で気分を味わいながらの入浴で、拒む方はいない。夏場はシャワー浴の希望者もいる。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。  菜園に行ったり、洗濯たたみなど、できる事をしてもらっている。踊りのボランティアの訪問時には、名取りの資格をもった利用者も一緒に踊ったりしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。  年1回地区のカラオケ大会に参加するなど、楽しみごとにも取り組んでいる。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。  スーパーに買い物に行ったり、公園に散歩に行っている。また、馴染みの美容院に行く方もいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。  車いすの方も、一緒にドライブ(わんぱーく高知・桂浜荘での食事会・公園での花見)などに出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。  20人乗りマイクロバスがあり、全員でドライブに出かけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p>鍵はかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。</p> <p>外に出られる方は把握しており、後をついて行き見守っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。</p> <p>近所の方には、声かけをしている。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。</p> <p>隣接のデイサービスセンターと合同で防災訓練を実施しているが、地域住民の参加・協力は得られていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常食料・備品を準備している。</p> <p>水、食料品の備蓄の準備はできている。自家発電装置があり、スプリンクラーの設置、消防署への緊急通報装置、放水設備なども備えられている。</p>	○	災害時には地域住民の協力は不可欠であり、地域住民参加の避難訓練の実施を期待したい。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>基本生活記録表に食事量、水分摂取量を記入している。水分摂取は1500ccを目安に取り組んでいる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>個人の嗜好などを把握して、献立を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>栄養士によりチェックされている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>食卓、椅子、ソファ、テレビなどが置かれ、横には和室があり、ゆったりとした共用空間になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>各居室の入り口には、利用者の一番輝いていた時の写真が置かれ、彩りの暖簾が掛けられている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>玄関には桃の花、観葉植物、折り紙で作った兜などが置かれ、明るい雰囲気に配慮されている。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>タンス、ラジオ、蛍光灯、押入チェスト、家族写真など馴染みの物が置かれている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>家族と利用者の要望に沿った、その人らしい居室づくりに配慮している。</p>		